JR南武線跨線橋（仮称）下部工事

（２９北南－府中３・２・２の２及び国立３・３・２）

工　事　説　明　会

平 成 ２９ 年　 9月　7日

東京都建設局
The Bureau of Construction

北多摩南部建設事務所

説明会次第

一．　開会

一．　出席者紹介

一．　挨拶

一．　工事概要の説明

一．　質疑応答

一．　閉会

本日の説明内容

1．都市計画道路「東京八王子線」の概要と整備効果

2．全体工事の概要

3．JR南武線跨線橋（仮称）下部工事の施工手順

4．工事中の安全・環境対策

5．作業時間・作業日等

１．都市計画道路 東京八王子線

概要と整備効果

東京八王子線全体計画図

東京八王子線　34.2ｋｍ

凡　例	
：東京八王子線（整備済）	：主要道路
：東京八王子線・放射第５号線（都施行事業中）	：主要道路（事業中）
：計画道路	：高速道路
：東京八王子線（国施行事業中）	
：東京八王子線（国施行未着手）	

路線概要

都市計画道路名

府中都市計画道路３・２・２の２号東京八王子線
国立都市計画道路３・３・２号東京八王子線

事業延長及び区間

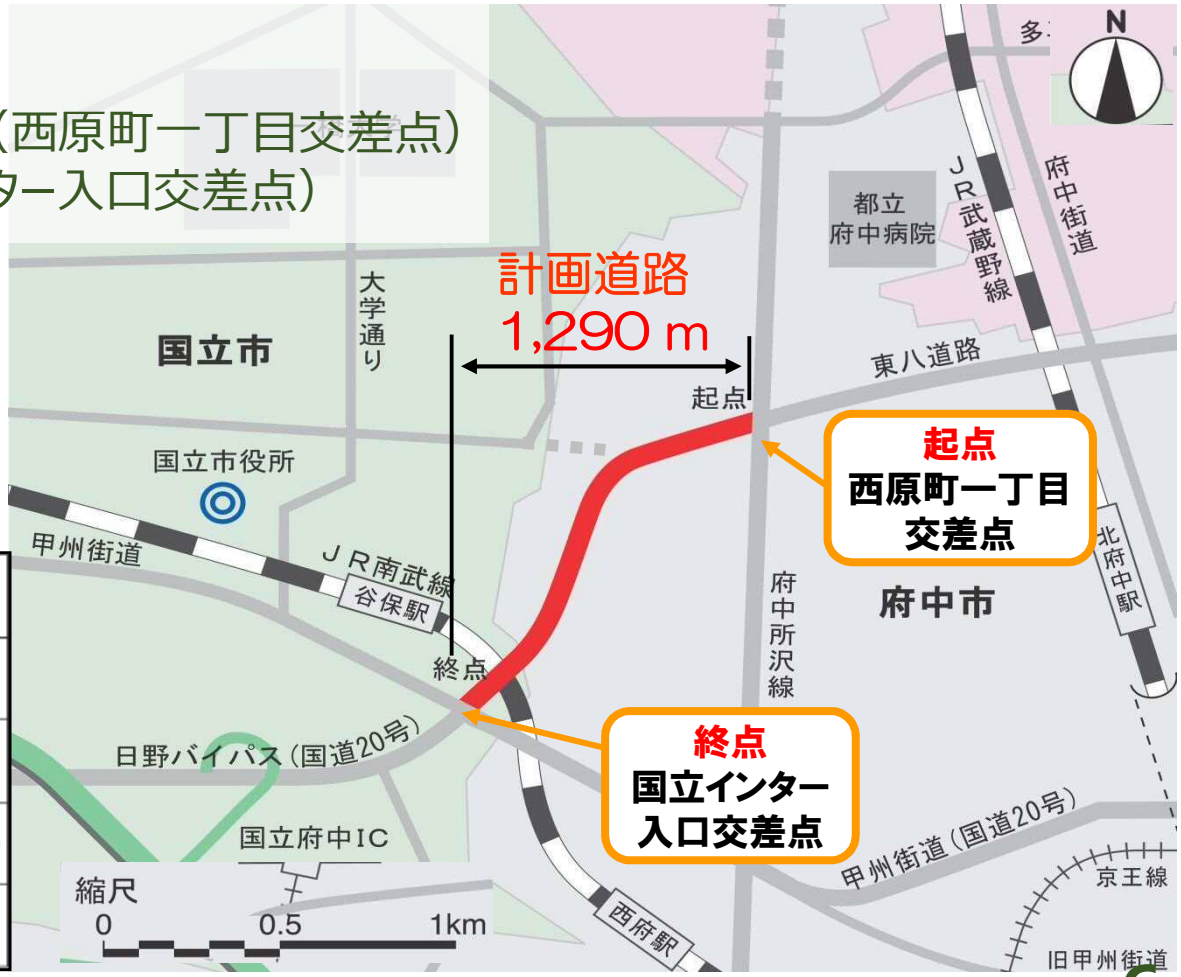
延長　1,290m
起点　府中市西原町二丁目（西原町一丁目交差点）
終点　国立市谷保（国立インター入口交差点）

道路幅員

３６～４１ｍ

車線数

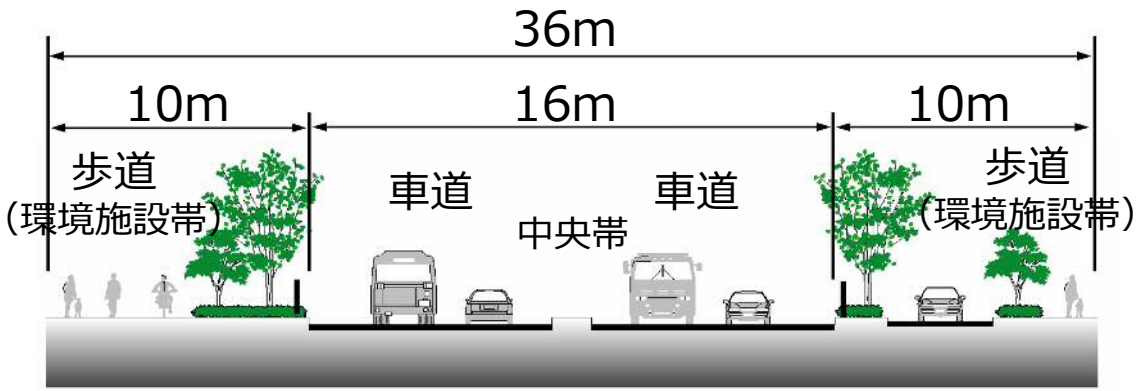
往復４車線



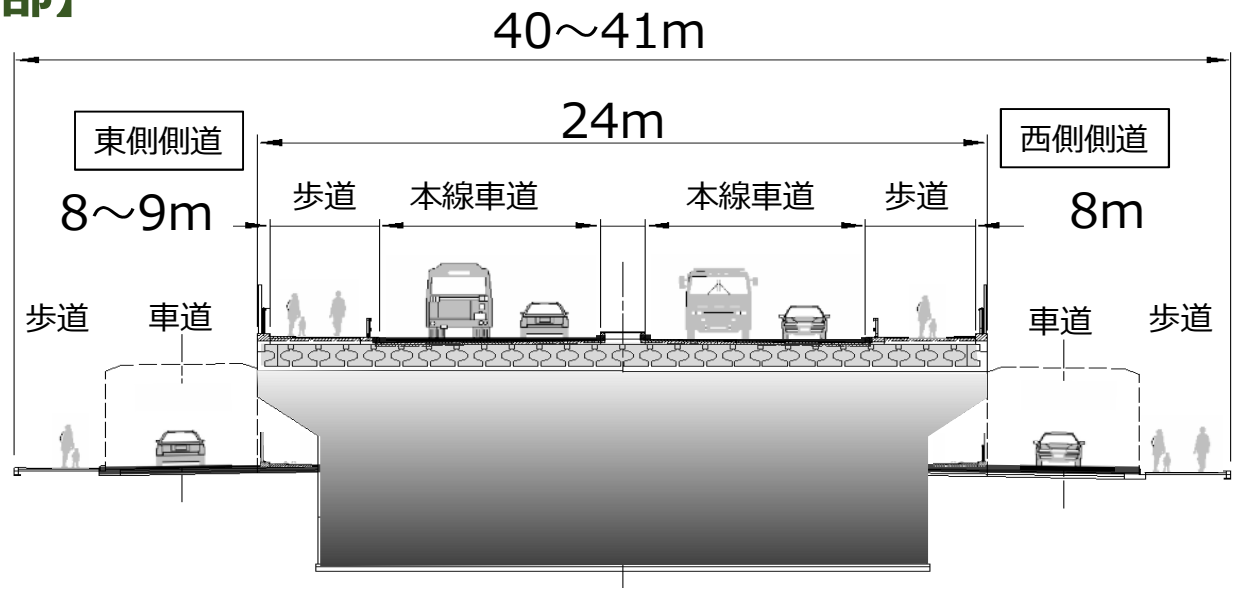
凡 例	
	：計画道路
	：主要道路
	：主要道路（事業中）
	：高速道路

標準断面図

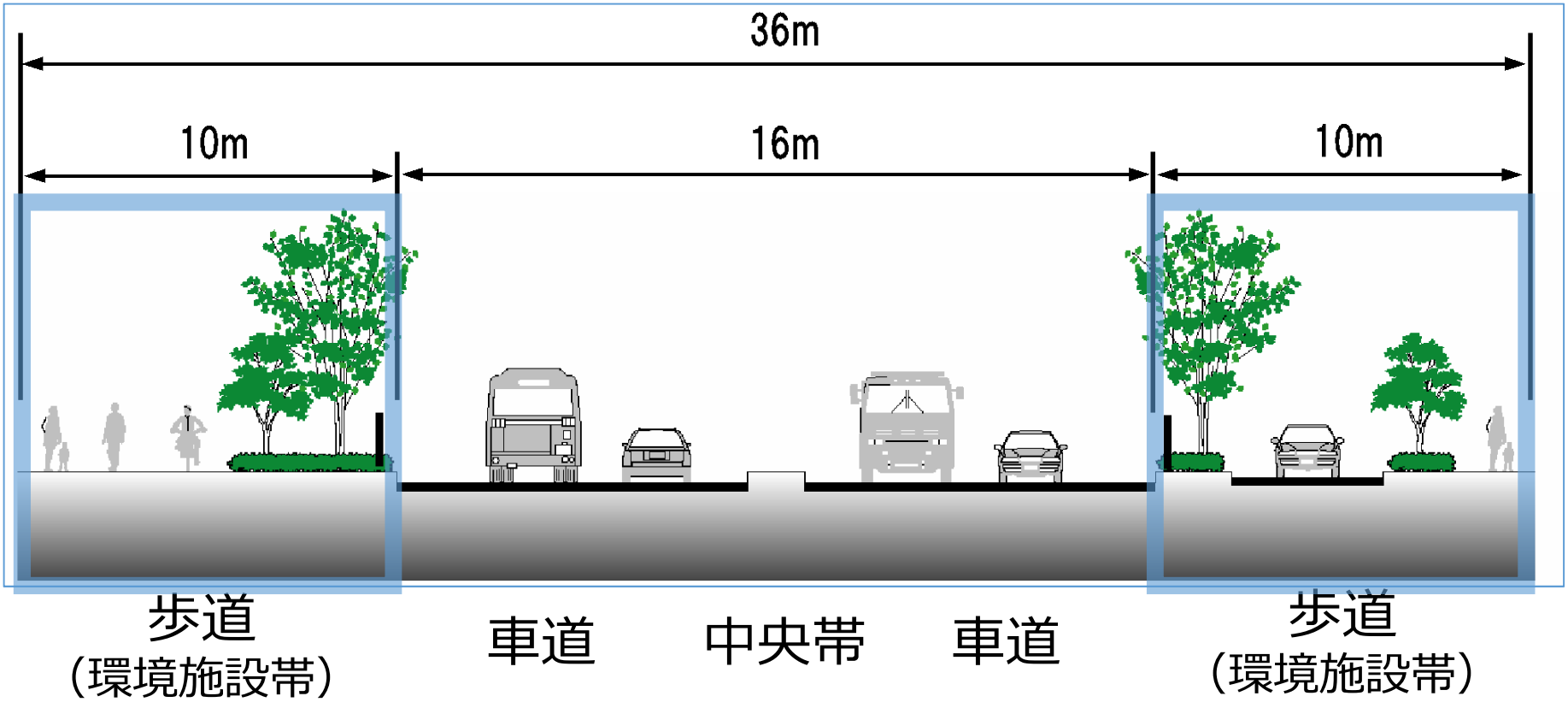
【一般部】



【立体交差部】



環境施設帯（歩道（環境施設帯）整備に関する検討会にて、沿道の皆様と検討中）



＜環境施設帯の構成＞

・植樹帯　・自転車走行空間　・歩道　・副道
・道路付属物（街路樹、遮音壁等）
等の組み合わせによって構成

：検討対象

整備効果

○区部の放射第５号線と一体となって

多摩地域と区部の連携を強化

○甲州街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和

○生活道路へ流入する通過交通の排除による

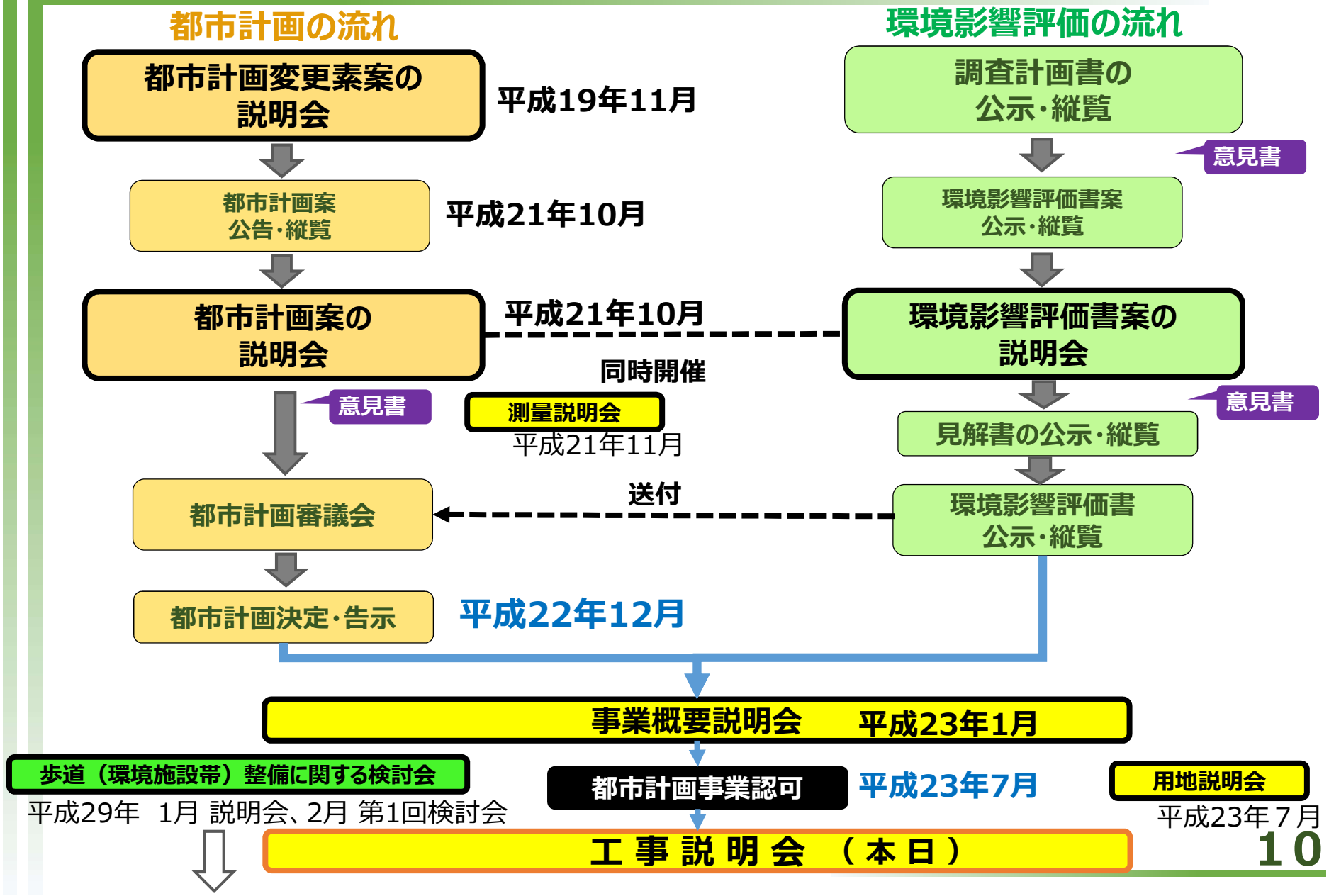
良好な居住環境の確保

○延焼遮断帯の形成等による地域の防災性の向上

○環境施設帯による快適な都市空間の創出

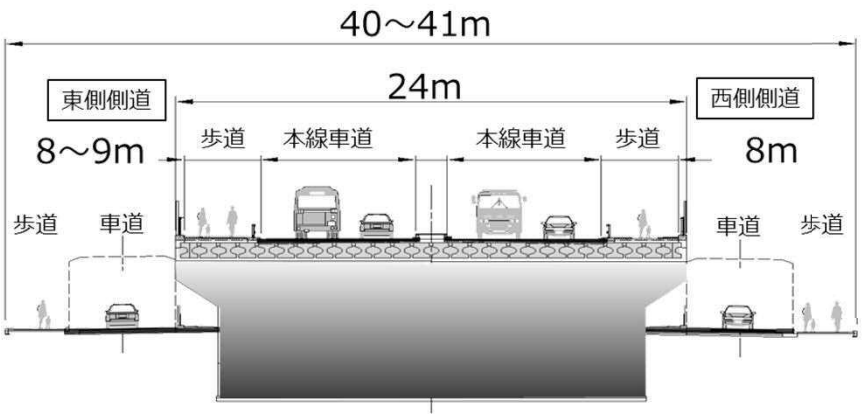
事業の経緯

【都市計画決定：昭和37年7月26日】

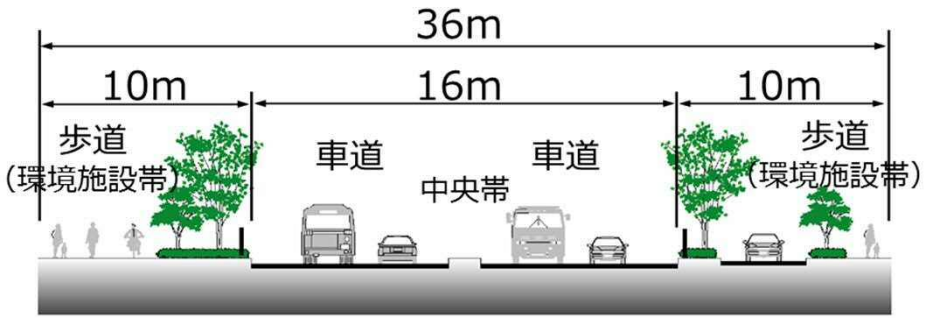


２．全体工事の概要

全体工事の概要

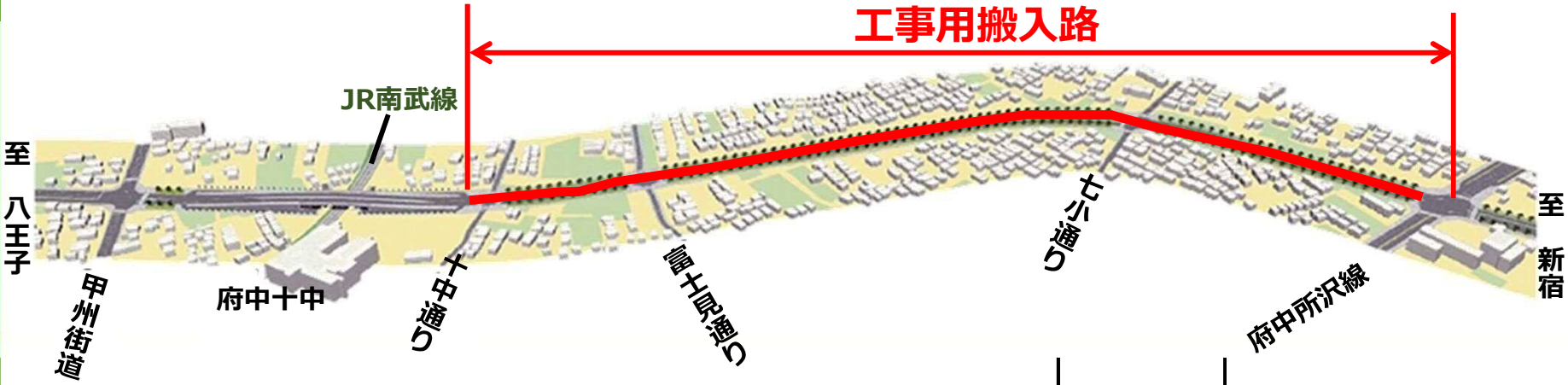


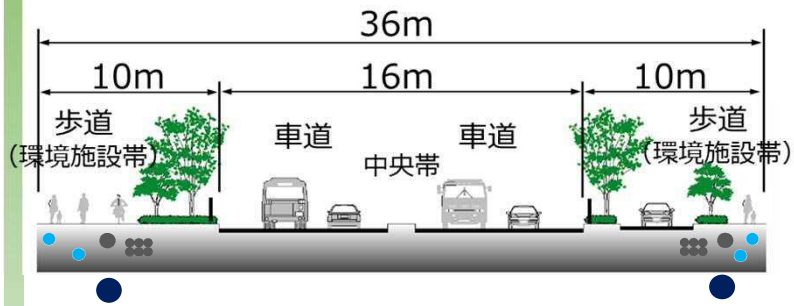
立体交差部の断面図



一般部の断面図

一般部の工事概要





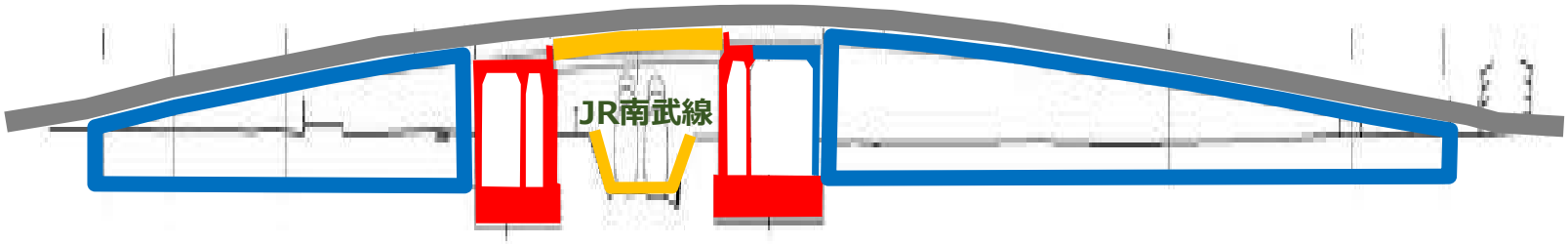
一般部の断面図

主な工事内容	H29年度	H30年度～
工事用搬入路		
排水管		
各種ライフライン（ガス･水道等）		
電線共同溝 道路本体の築造 車道舗装		
歩道 環境施設帯		

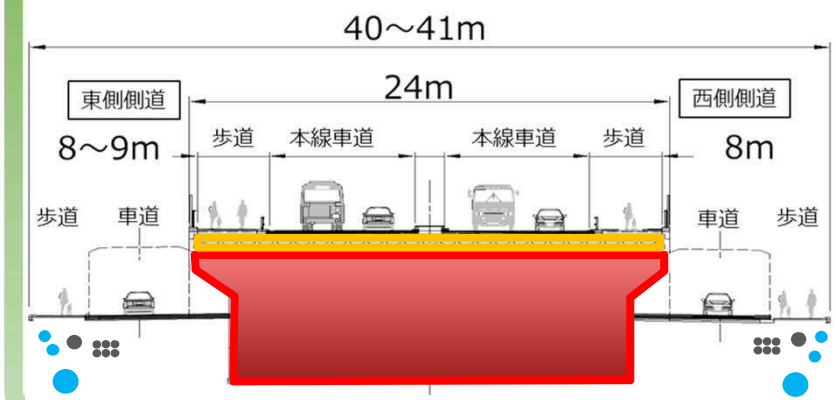
○今年度は工事用搬入路の工事を行います。

○来年度以降、用地取得状況に応じて各種工事を進めていきます。

立体交差部　工事概要



立体交差部の側面図



立体交差部の断面図

主な工事内容	H29年度	H30年度	H31年度～
橋梁下部（本日説明）			
線路内工事・けた架設			（JR施工）
擁壁・橋梁下部の一部			
側道部ライフライン			
電線共同溝 側道・本線の道路築造 舗装			

○　跨線橋整備のうち、今年度は下部（橋台）を施工します。
○　線路上で行う工事は、JR東日本に施工を委託します。

本宿原踏切　取　扱

３．JR南武線跨線橋(仮称)
下部工事の施工手順

■ 施工フロー

ステップ1：準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

ステップ2：杭打ち工事

⇩

ステップ3：掘削・山留工事

⇩

ステップ4：跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

ステップ5：埋戻し・山留撤去工事

⇩

ステップ6：跨線橋下部躯体工事(地上部)

■ ステップ1：準備工（迂回路開放･仮囲い設置）

準備工(迂回路開放･仮囲い設置)

⇩ 迂回路使用開始

杭打ち工事

⇩

掘削･山留工事

⇩

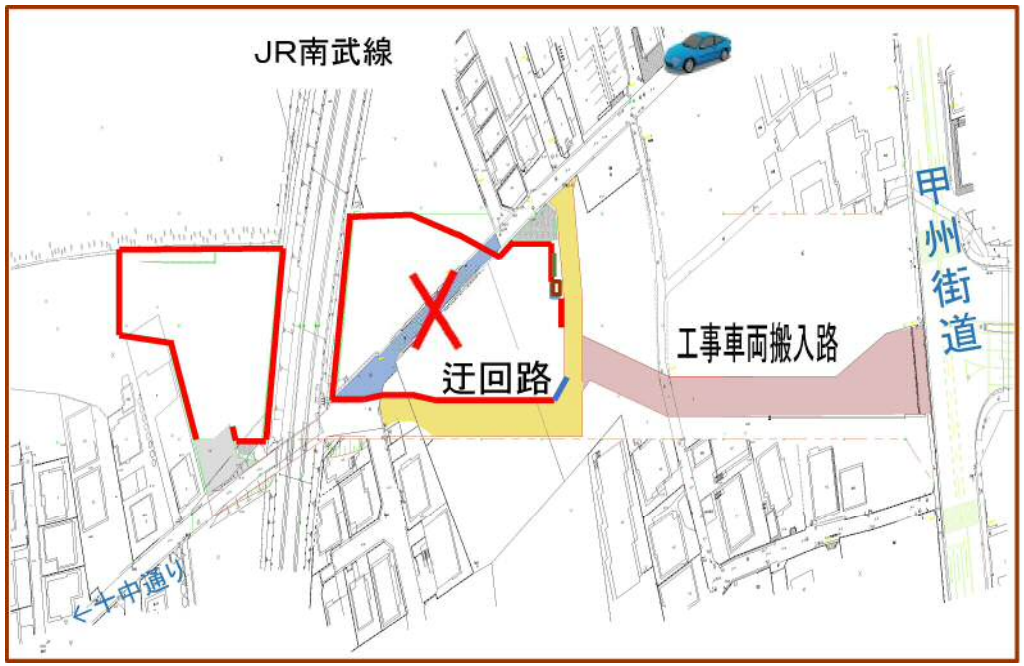
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

埋戻し･山留撤去工事

⇩

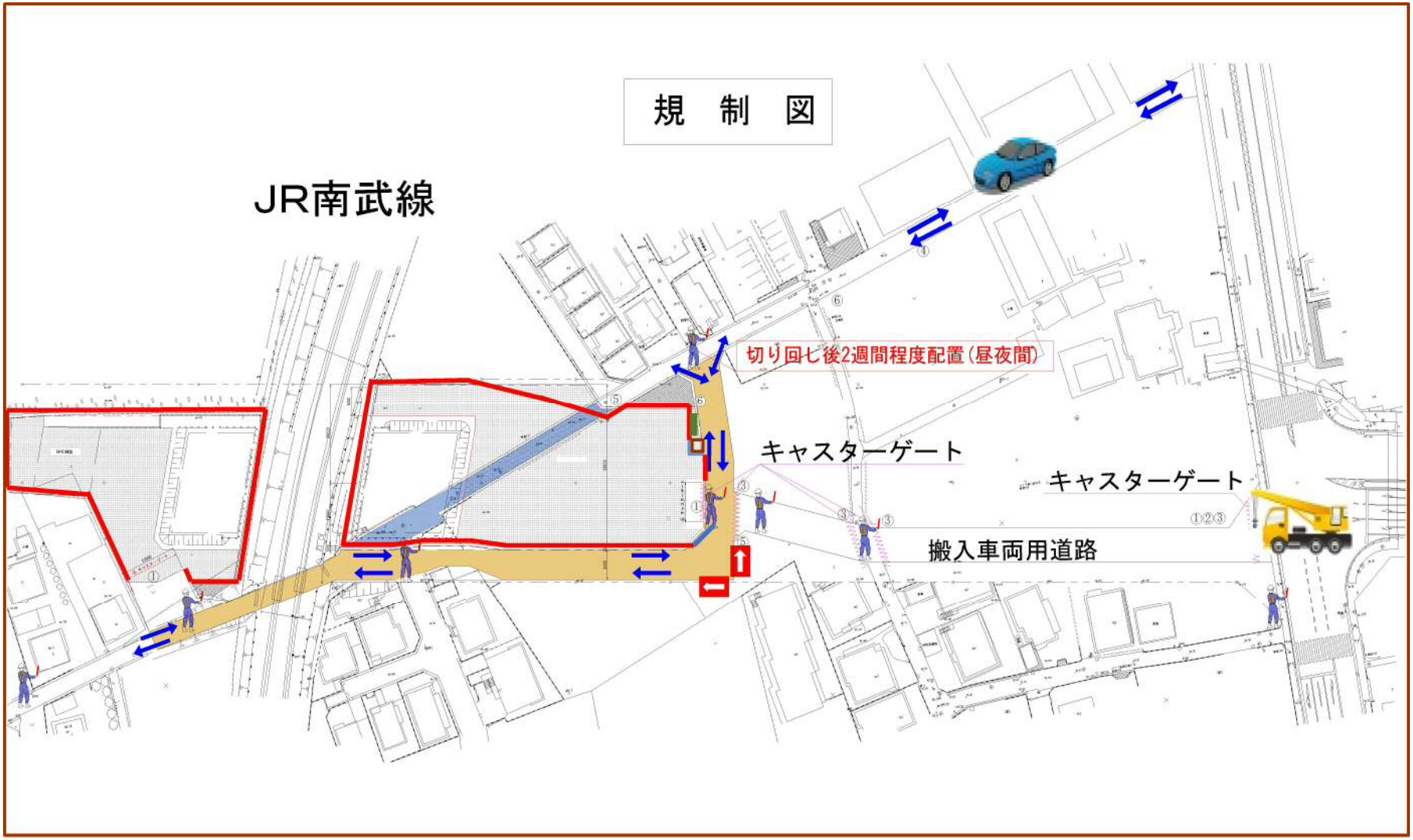
跨線橋下部躯体工事(地上部)



橋の下部工事に支障となるため
現在通行している道路が通れなくなります（青色の通路）

■ ステップ1：準備工（迂回路開放・仮囲い設置）

迂回路の通行について



仮囲いイメージ　参考写真

仮囲いｲﾒｰｼﾞ写真

工事用ｹﾞｰﾄｲﾒｰｼﾞ写真
（工事用車両出入部）

・ 高さ２mの 仮囲い を設置します。

・ 工事用車両の出入り口に　ゲートを設置します。

■ ステップ2：杭打ち工事

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

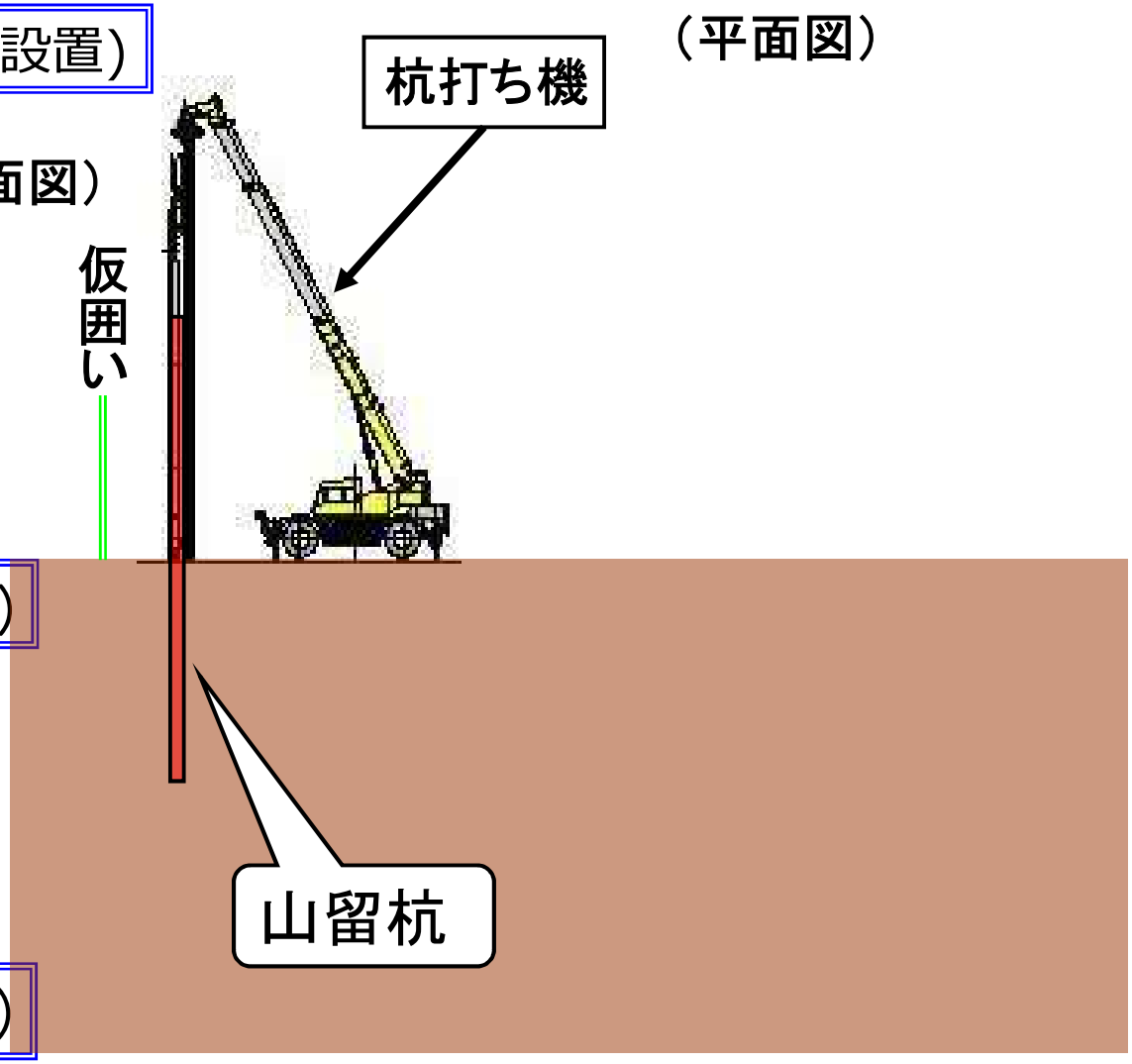
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

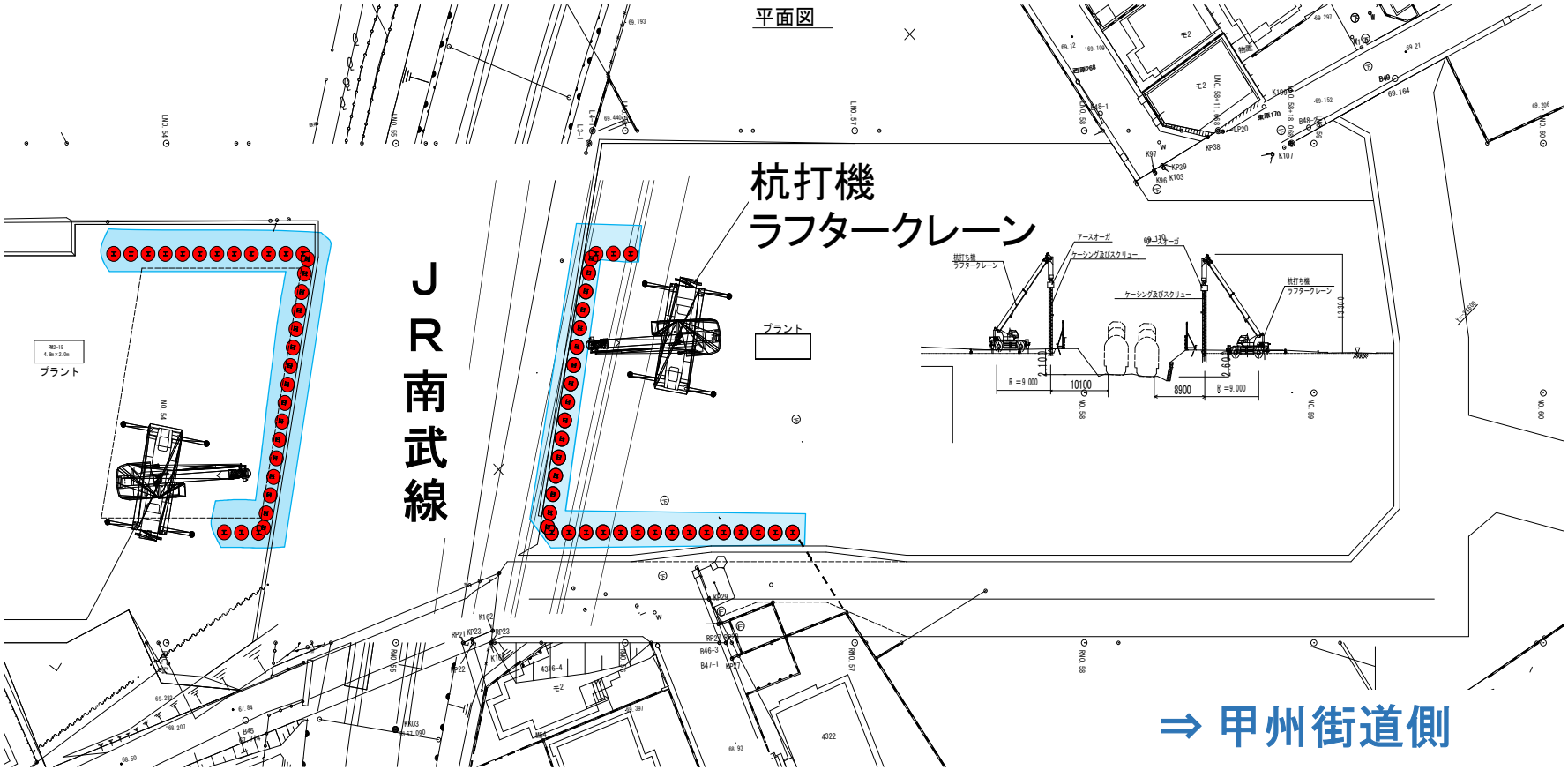
埋戻し・山留撤去工事

⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)



■杭打ち工事 【施工時期H29年9月下旬から10月頃】



□ 仮囲いの内側で、山留め杭（水色の範囲）の打設を行います。

■杭打ち工事 【イメージ写真】

杭打ち機

○ 騒音・振動が極力出ないよう施工します

○ クレーンの転倒、等ないよう安全に施工します

○ 強風時はクレーン作業を中止します

■ ステップ3：掘削・山留工事

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

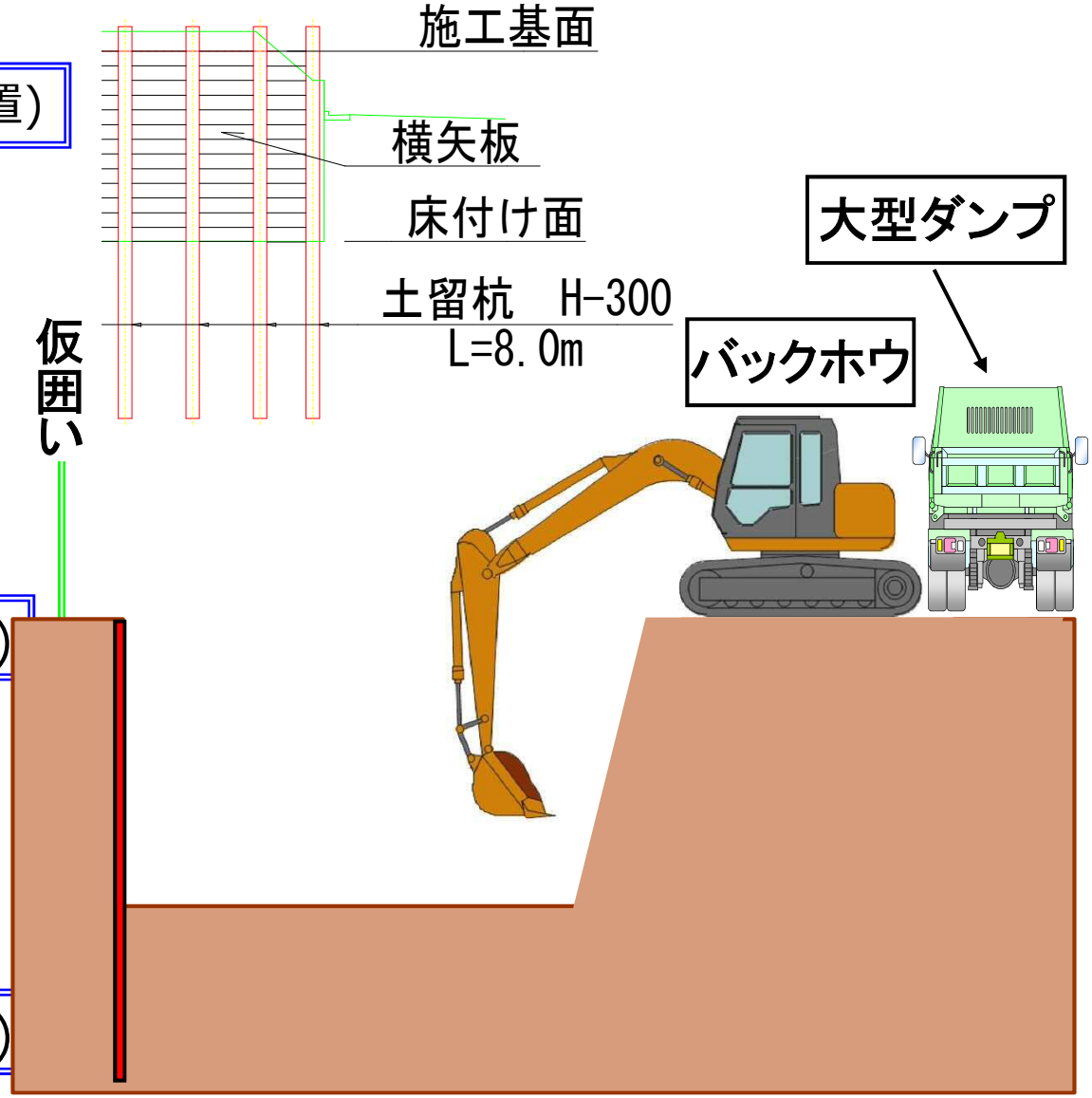
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

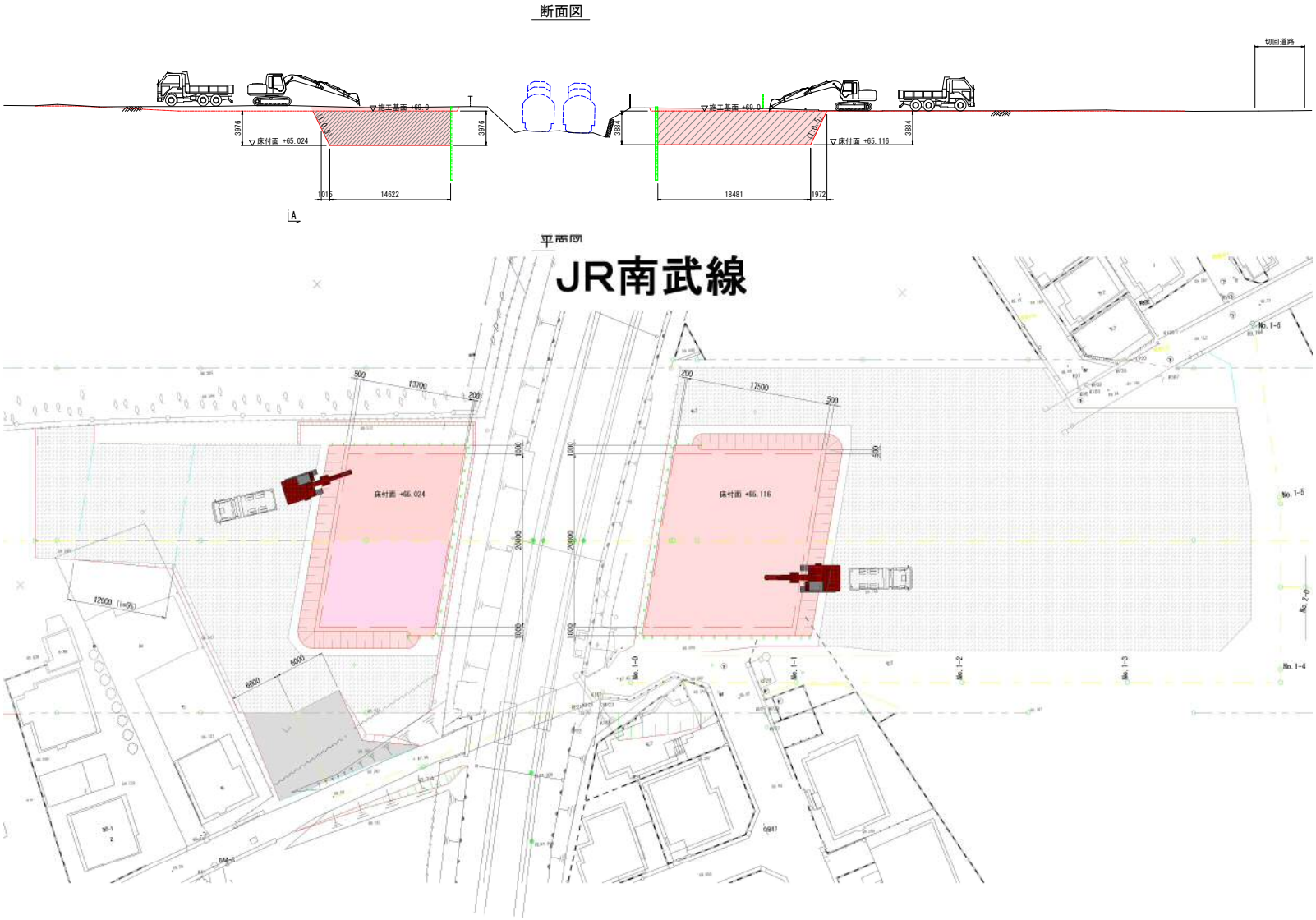
埋戻し・山留撤去工事

⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)



■掘削工事 【施工時期H29年9月下旬頃】



□ 赤く着色した箇所を掘削します

■掘削工事 【イメージ写真】

【掘削状況】

掘削機械

ダンプへの積み込み

■山留工事 【イメージ写真】

【横矢板設置状況】

■ ステップ4：跨線橋下部躯体工事(地中部)

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

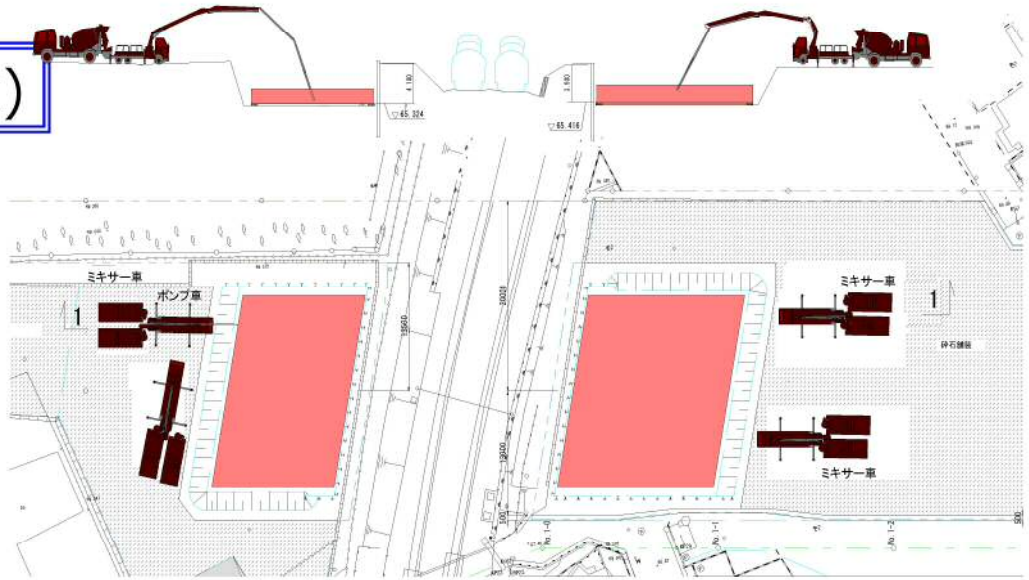
跨線橋下部躯体工事(地中部)

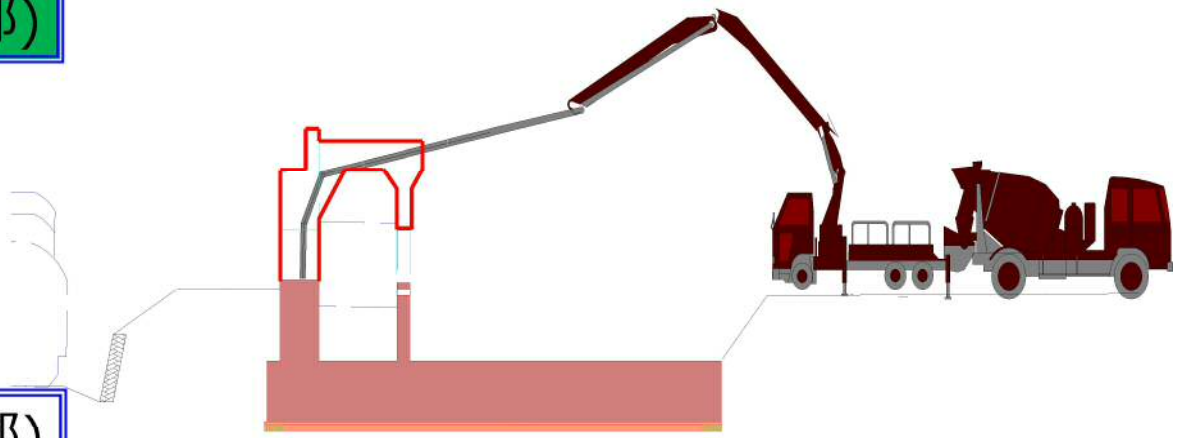
⇩

埋戻し・山留撤去工事

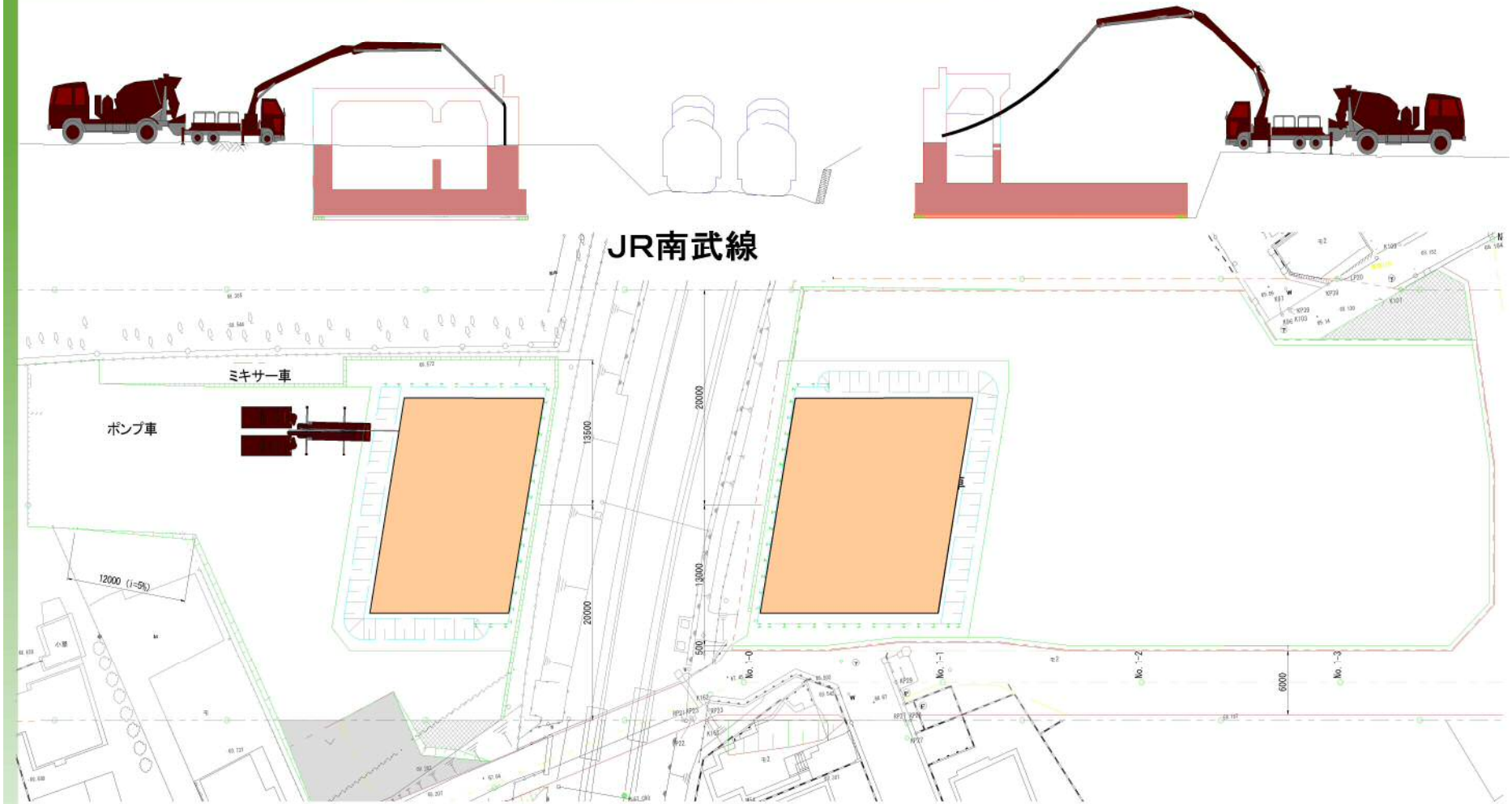
⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)





■跨線橋下部躯体工事（地中部）
【施工時期H29年10月頃～H29年11月頃】



□　跨線橋下部となる橋台（赤色）を設置します

■跨線橋下部躯体工事【イメージ写真】

【鉄筋型枠組立状況】

【コンクリート打設状況】

鉄筋組立後、
型枠を設置

⇨

コンクリートを
流し込みます

■ ステップ5：埋戻し・山留撤去工事

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

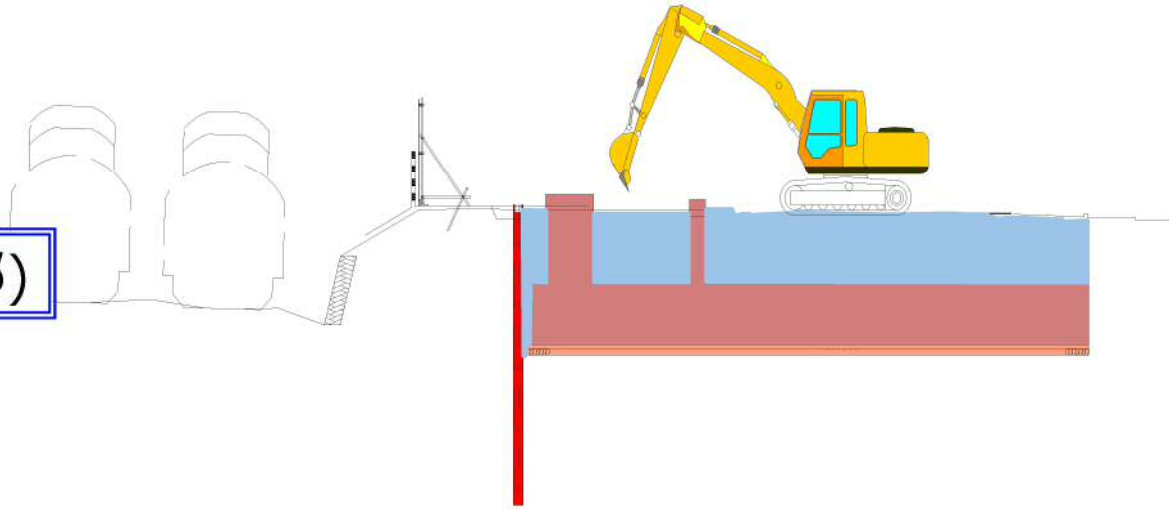
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

埋戻し・山留撤去工事

⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)



■ ステップ5：埋戻し・山留撤去工事

【施工時期H29年11月頃～
H30年1月頃】

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

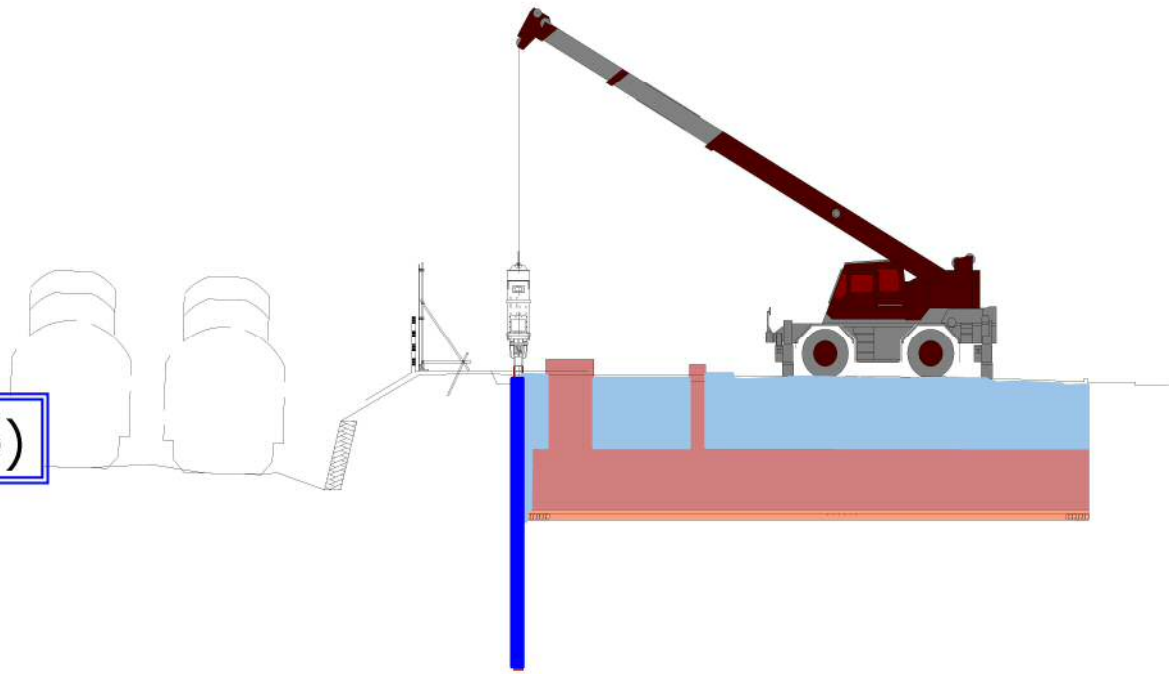
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

埋戻し・山留撤去工事

⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)



■山留撤去工事【イメージ写真】

山留の支柱の杭を撤去する状況【イメージ写真】

■ ステップ6：跨線橋下部躯体工事(地上部)

● 作 業 手 順 ●

準備工(迂回路開放・仮囲い設置)

⇩

杭打ち工事

⇩

掘削・山留工事

⇩

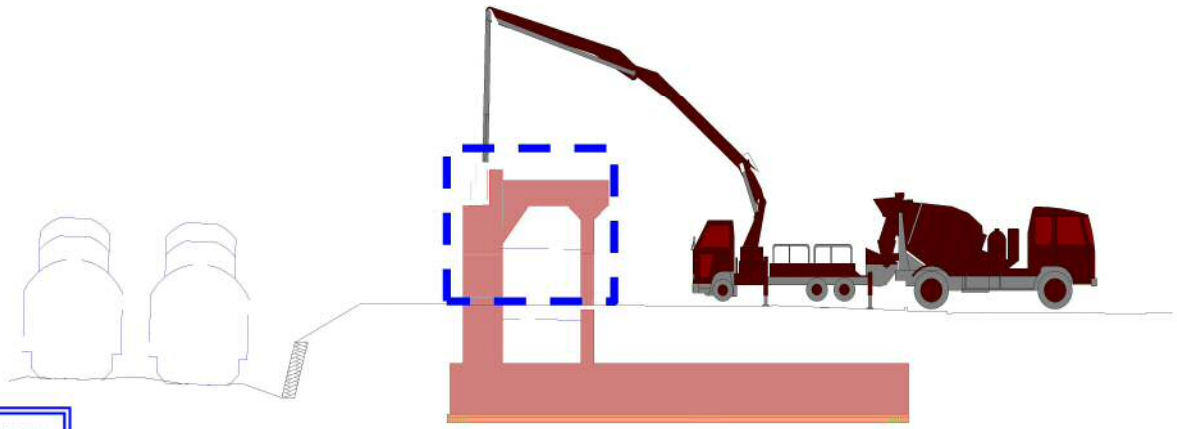
跨線橋下部躯体工事(地中部)

⇩

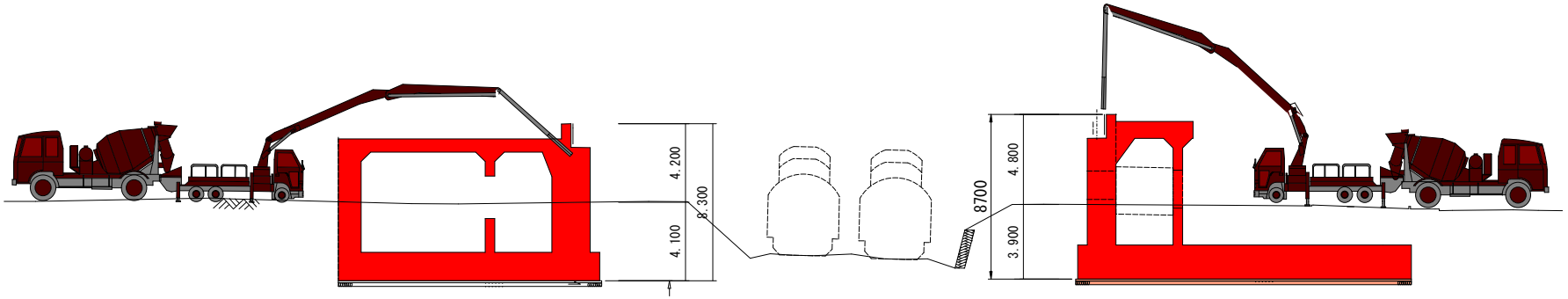
埋戻し・山留撤去工事

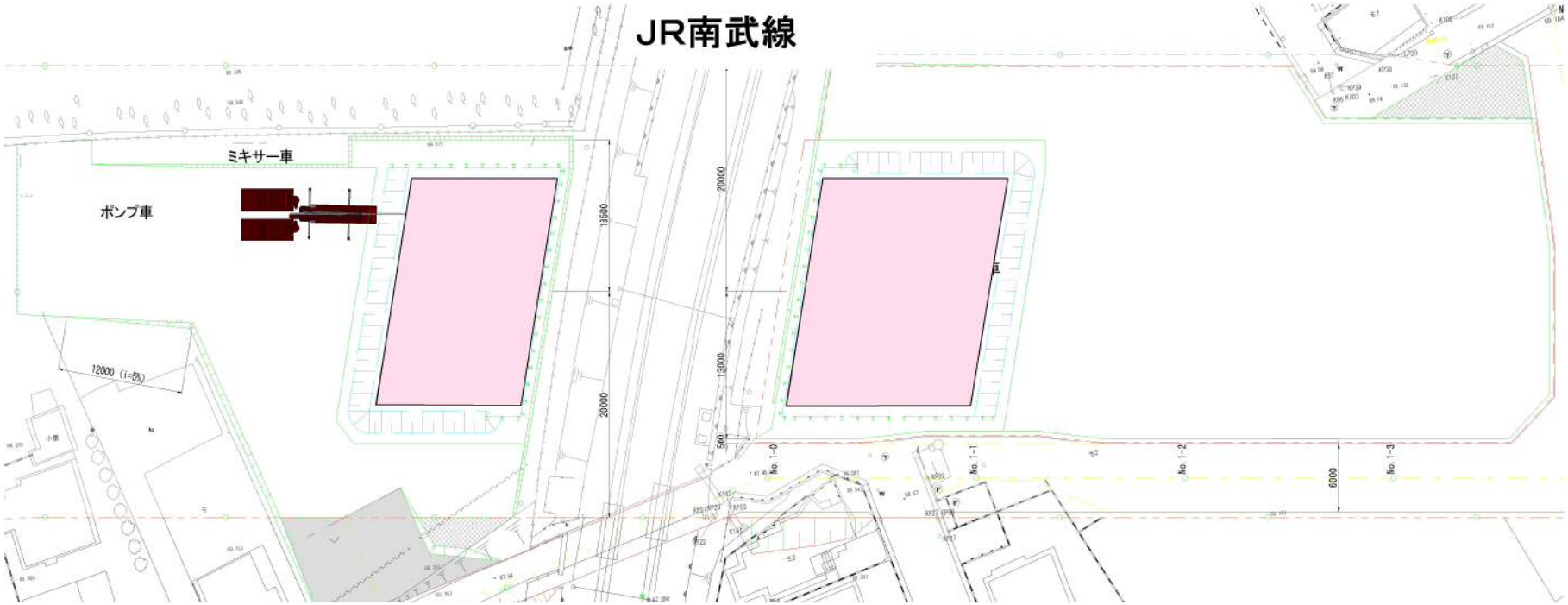
⇩

跨線橋下部躯体工事(地上部)



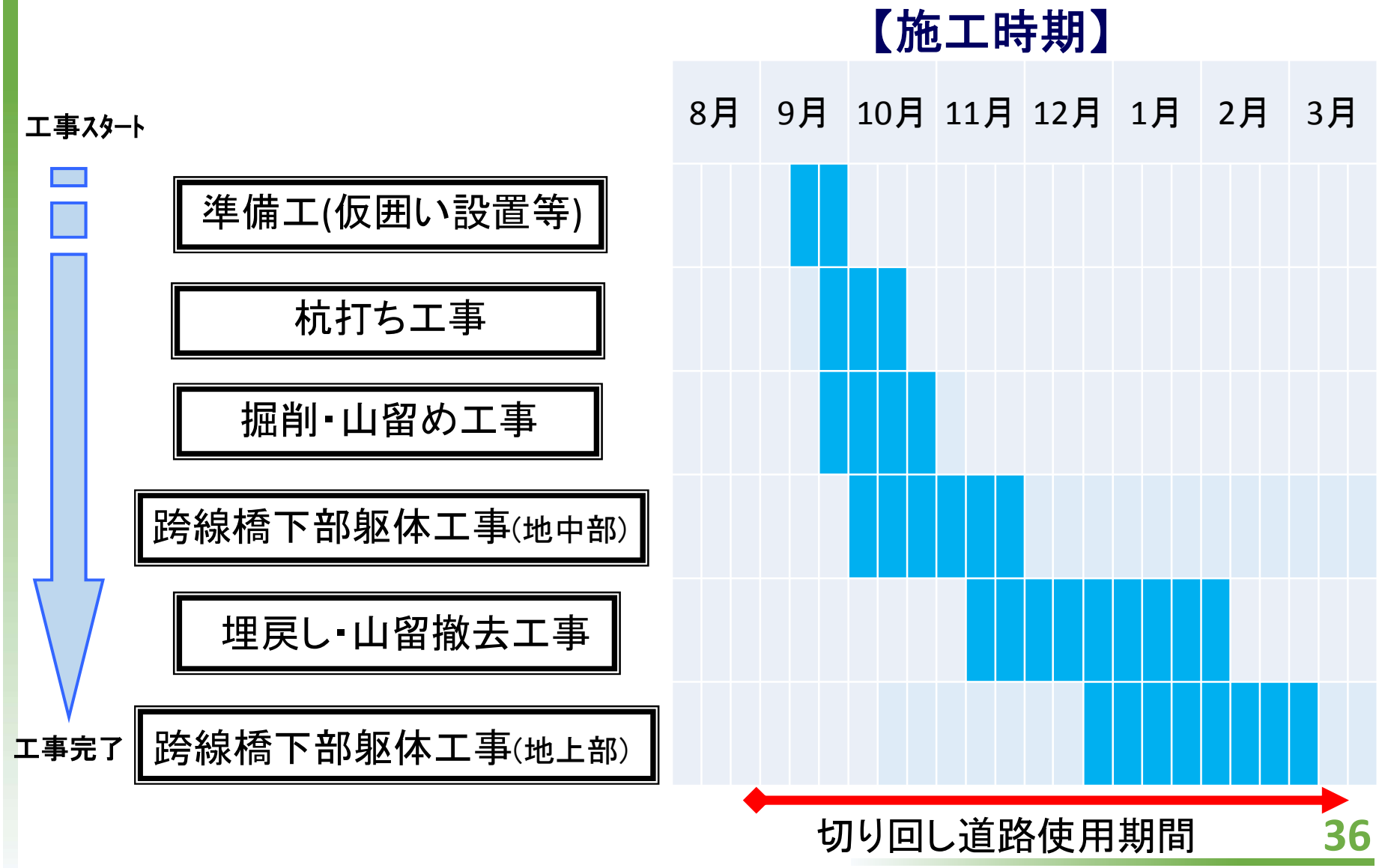
■跨線橋下部躯体工事(地上部)
【施工時期H29年12月頃～H30年3月頃】





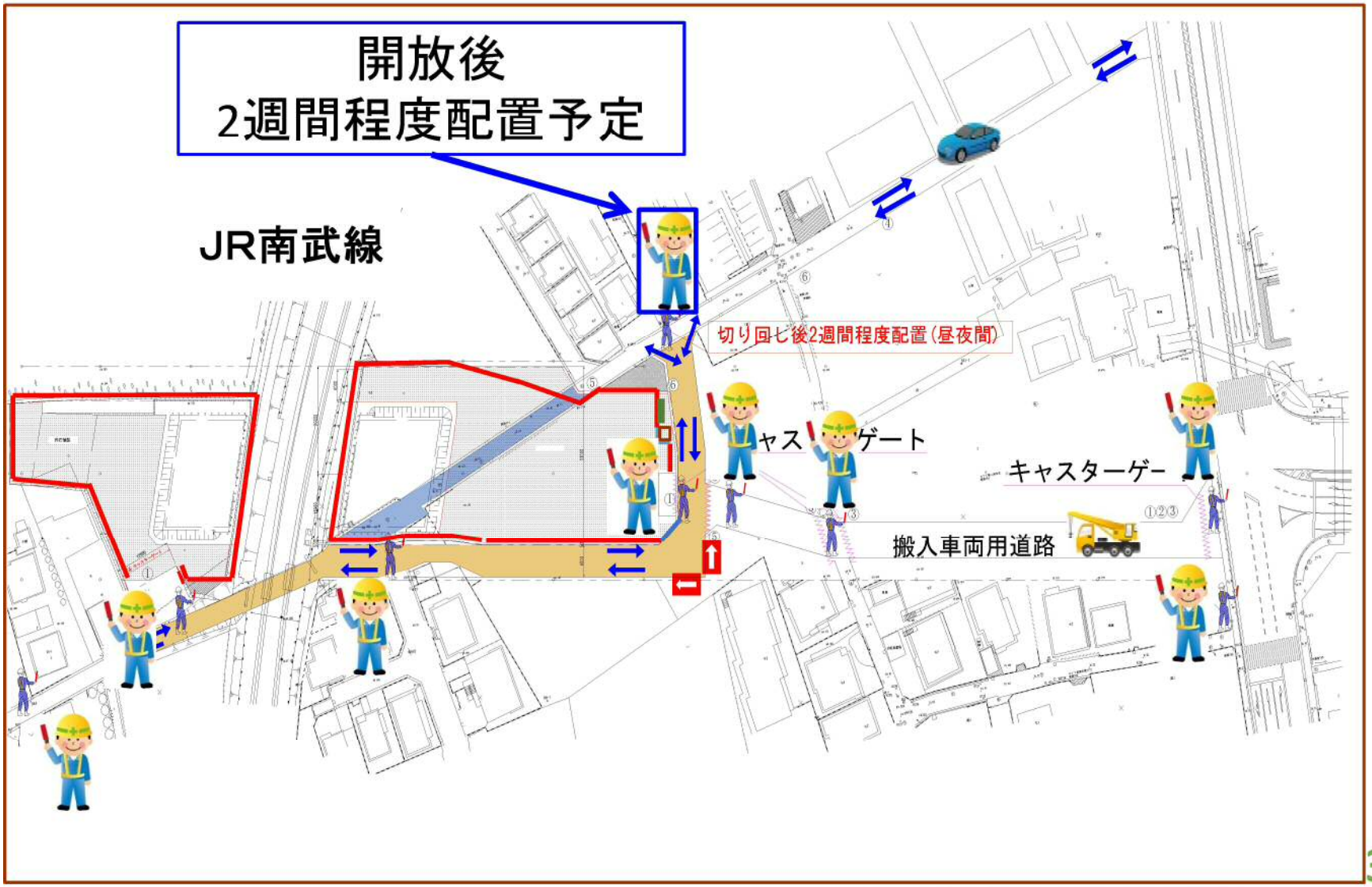
□　跨線橋下部となる橋台（赤色）を設置します

■ 工事のスケジュール（予定）



４．工事中の安全･環境対策

■ 迂回路等　安全確保


開放後
2週間程度配置予定
JR南武線
切り回し後2週間程度配置（昼夜間）
ャス
ゲート
キャスターゲー
搬入車両用道路

■工事中の環境対策

○　仮囲いを設置
　（粉塵等の飛散や騒音等の低減）

○　低騒音・低振動の建設機械の使用

○　周辺道路の汚損への対策
　（工事車両のタイヤに付着した泥等を取り除く）

○　建設機械のアイドリングストップを徹底

等に取り組みながら工事を実施します。

５．作業時間･作業日等

■ 工事作業日及び作業時間

●工事をする時間帯

原則 AM 8:00 ～ PM 6:00

小学校登校時間(7:30～8:30)は
大型車の搬入を控えます

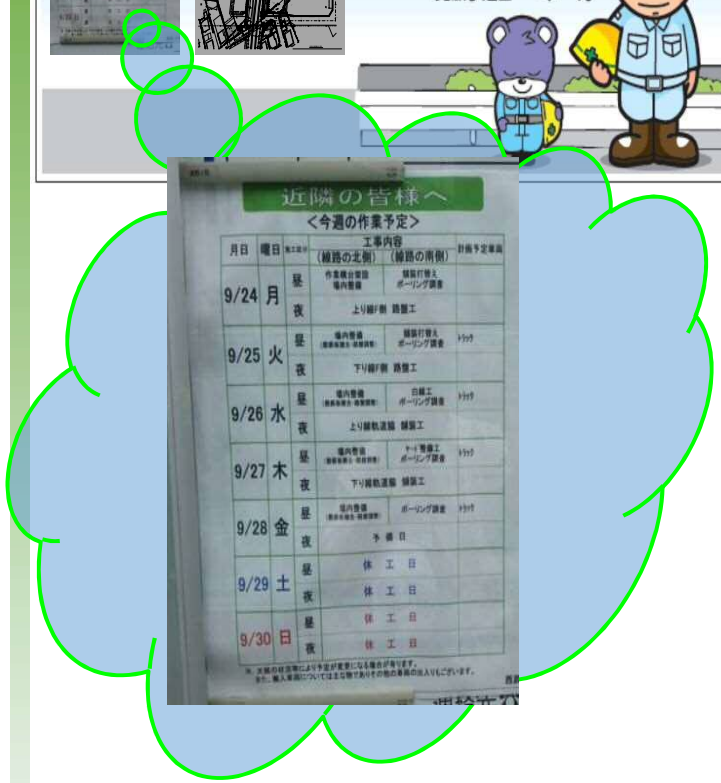
※コンクリート打設作業等、早い時間から作業を行う際は
別途お知らせ等で広報させていただきます

●工事作業日

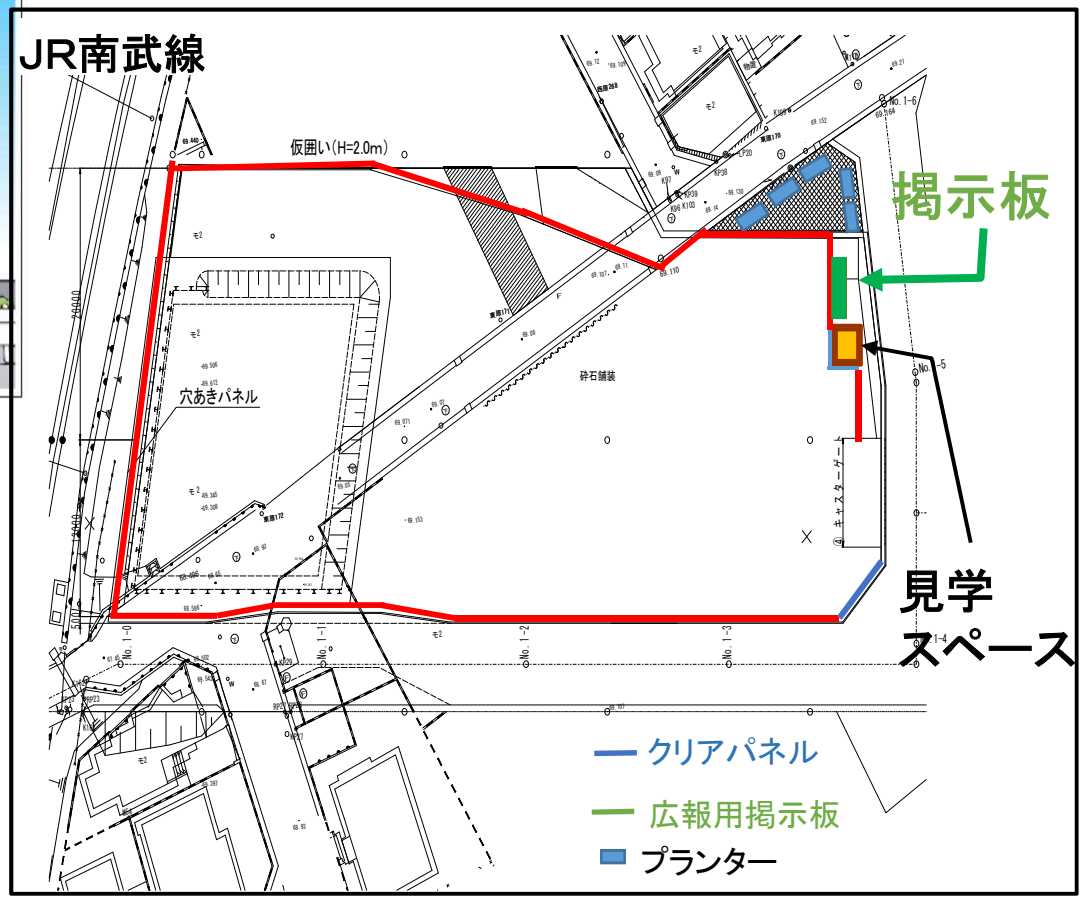
月 火 水 木 金 △土 日

原則日曜日の工事は行いません
工事の工程等により土曜日の作業がある場合があります

■ 工事に関するお知らせ方法



設置予定箇所



広報板を設置し、情報をお知らせします。

■ お問い合わせ

--- 事業及び工事全般に関するお問い合わせ ---

東京都 北多摩南部建設事務所

工事第一課　工事担当

電話　042－330－1841

--- 施工に関するお問い合わせ ---

株式会社　入江建設　東京支店

電話　042－775－6358

（現場代理人まで）

おわり

ありがとうございました。